

第1回水稲病害虫発生予察状況の調査結果について

令和7年6月26日

兵庫県農業共済組合佐用事務所

佐用町内（佐用2、上月1、南光1、三日月1）の水稲病害虫発生状況について6月26日に調査を行いました。病害については確認されませんでした。害虫はヒメトビウンカ・セジロウンカ等がわずかに確認された程度でした。

1 調査結果（調査日6月26日）

病害虫名	調査結果の概要	今後の対策
いもち病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除・管理に努めてください。
紋枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
縞葉枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ウンカ類	一部のほ場で発生がありました。	
ツマグロヨコバイ	一部のほ場で発生がありました。	
ニカメイチュウ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
カメムシ類	一部のほ場で発生がありました。	

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

- ① いもち病の常発地域ではこまめにほ場を観察し、必要であればウンカ防除も含めてコラトップトレボン粒剤（3～4 kg/10 a）を早めに散布しましょう。補植用の苗は、いもち病の発生源になりますので、ほ場から持ち出して処分してください。
- ② ガスが湧いて生育が進まない場合は2、3日水を落として田干しを行ってください。
- ③ 1株当たりの茎数が18～20本になりましたら、遅れないよう中干しを行ってください。

3 その他

- ・4月から6月中旬までの気象状況（アメダス観測地：上郡）は、平均気温はやや高く、降水量は平年より少なく、日照時間は多くなっていました。
- ・梅雨入りは気象庁の速報値では昨年より8日早い6月9日となりました。
- ・兵庫県病害虫防除所が6月9日に発表した「病害虫発生予報第2号」ではヒメトビウンカ、葉いもちの発生予想は「平年並み」になっています。
- ・6月10、15日にいもち病の感染好適条件の日がありました（BLASTAM情報）。
- ・1か月予報：平年に比べ曇りや雨の日が少ない（気温：高、降水量：少、日照時間：多）

次回の調査予定日：令和7年7月10日（木）です。